

千葉県産米輸出拡大勉強会

米の輸出実績は毎年伸び続けているものの、依然として日本産米の価格が輸出の障壁となっているため、新たな生産者の参入と先進的技術の導入により、低コストでの生産を図る。

○ 施策分類

輸出促進

○ きっかけ・背景、課題の把握

米の輸出実績（輸出米を除く）は毎年伸び続け、2023年には4年前の2019年の1万7381トンから3万7186トンとなり、一層の輸出拡大が期待される品目。

一方、海外では諸外国産の安価な米が流通し、価格が日本産米輸出拡大の障壁になっており、実需者との結びつきの下で、多収量品種の導入や直播栽培などの低コスト生産への取組が必要であることから、千葉県内での取組に資するよう、関係者及び関係機関の協力の下、県内外の取組事例や知見を学ぶための勉強会を定期的開催。

○ 取組の内容

生産者や行政機関（国、千葉県、市町村）、JA、米の集荷業者、農機具メーカー等多様な方に声掛けし、それぞれから取組の報告を受け交流。また、より多くの方に米の輸出や低コストに興味を持ってもらうために勉強会をWEBでの開催や、実践的な取組が明快にイメージされるよう、県内外での実演等を実施。

○ 効果・成果、今後の方向性

勉強会をとおして、輸出を拡大するため協議会の設立に向け動き出している関係機関や生産者、輸出を目指し活動を開始した地域・生産者、規模拡大のため直播・スマート農機の導入・ほ場の拡大を計画する生産者の増加等、県内での米輸出の機運が上昇。

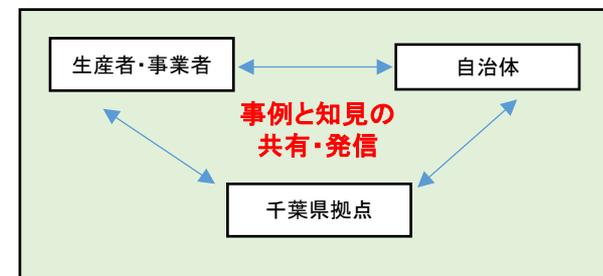


第2回勉強会はハイブリットで開催。
(市原市、袖ヶ浦市)



第4回勉強会は茨城県のスガノ農機にて実機説明会を開催。

体制図



農業関係者（輸出拠点）・事業者・行政が
千葉県産米輸出拡大協議会を設置（令和7年3月予定）



令和7年産米での生産・輸出の拡大へ